

## 倫理審査委員会議事摘録（2026-1）

【日時】 2026年1月19日（月） 午後5時00分～午後6時50分

【場所】 病院本館2階 第3会議室

【出欠】

◎委員長 ○副委員長

	氏名	性別	区分	出欠確認	
				会場	
◎	神田 芳郎	男	学内	会場	○
	西 昭徳	男	学内		×
○	三好 寛明	男	学内	会場	○
	吉田 史章	男	学内	会場	○
	川山 智隆	男	学内	会場	○
	淡河 恵津世	女	学内	会場	○
	渡邊 順子	女	学内		×
	益守 かづき	女	学内		×
	室谷 健太	男	学内	会場	○
	吉井 千穂	女	学内	会場	○
	末金 茂高	男	学内	会場	○
	西原 慎治	男	学内		-
	朝見 行弘	男	学外		×
	鍋島 典子	女	学外	会場	○
	古賀 清	男	学外	会場	○
	衛本 みどり	女	学外	会場	○
				出席：○ 欠席：×	
第1号委員： 8名 第2号委員： 1名 第3号委員： 2名					
男性： 7名 女性： 4名					

【陪 席】 医に関する倫理委員会事務局/臨床研究センター

金子、田村、興津、内藤

委員長より、本日の会議は人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針第8章倫理委員会第17-2「構成及び会議の成立要件」の全てを満たして会議が開始された。

【審査案件】

1)

研究番号	25238		
申請区分	新規		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括）代表：福岡女学院看護大学 共同研究機関数：1		
研究課題名	高齢者施設における認知症高齢者の医療サービスの共同意思決定プロセス		
研究責任者	重松 由佳子		
説明者	重松 由佳子	出席形態	対面
説明者	太田 里枝（研究代表者）	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	研究者	
	第1号委員 個人研究費とは何を想定されているのか。 先生個人の大学の研究費ということか。	はい。福岡看護大学の研究費で行う。	
	第3号委員 研究計画書9頁8.(2)「職歴：高齢者施設での勤務経験が3年以上の者 現在、在職中の高齢者施設の勤務経験が1年以上の者」とあるが、間違いないか。	はい。	
第3号委員 研究計画書4頁6.1)(1)「除外：高齢者施設での勤務経験が3年以下の者」とあるが、3年未満ではないのか。他にも修正箇所がある為、ご確認いただきたい。	はい。		
説明者退室後に審議がなされた			
審議内容	第1号委員 3年以上と3年以下であると重なる為、修正が必要である。整合性の取れない文章や誤字脱字等を修正していただくうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。		
審査結果	継続審査		

2)

研究番号	25244		
申請区分	新規		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括）代表：福岡看護大学 共同研究機関数：1		
研究課題名	看護師と歯科医師の専門職種間連携と在宅要介護高齢者の口腔衛生との関連		

研究責任者	重松 由佳子		
説明者	重松 由佳子	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第3号委員 研究対象者への依頼文3頁「貴施設にお願いしたいことは、以下の1点です。…」という記載は、施設責任者宛の依頼文に記載すべきではないか。	はい。	
	第3号委員 研究者等リストの山中富氏の肩書は教授で間違いないか。	講師である。	
第3号委員 他にも修正箇所がある為、ご確認いただきたい。	はい。		
説明者退室後に審議がなされた			
審議内容	第1号委員 ご指摘の箇所を修正していただくうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。		
審査結果	継続審査		

3)

研究番号	25230		
申請区分	新規		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括）代表：久留米大学 共同研究機関数：1		
研究課題名	筋炎における筋病理およびRNA解析を用いた探索的研究		
研究責任者	星野 友昭		
説明者	原田 雅也（研究分担者）	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	研究者	
	第3号委員 全体的に、対象者に関する記載が異なる。同意取得時や診断が確定した時点、治療開始時の年齢など様々な記載がある。	筋生検を施行した際の年齢が20歳以上である。	
	第1号委員 今回は後ろ向きもあり、新たに同意を取得されるわけでもない。ご指摘の通り、修正	はい。	

	が必要である。	
	第1号委員 今回対象になっている細胞は、産まれた時からその患者さんに存在するものか。	はい。今回、筋肉と肺を予定しているが、いずれも体細胞の為、それが遺伝するという事はない。発現解析になる。
	第1号委員 体細胞であっても、例えば癌の場合、遺伝子配列が変わる可能性がある為、遺伝する配列とは違うと認識できるが、その方の体細胞を見ているだけであっても、配列が変わっている可能性はあるのか。	配列を見るわけではなく、RNAの発現の強さを確認するのみである。
	第1号委員 リード数のみということか。	はい。
	第1号委員 しかし、シーケンスをされるということであれば、同じ疑問を抱く。偶発的でも、ジャームラインのミュートーションが出てくる可能性はある。このような研究を行う場合は、遺伝子カウンセリングが出来る体制を整えたほうがよいと思う。	はい。
	第2号委員 どのような場合に代諾者から同意を得るのか。	筋炎の患者さんに関して、認知の問題は無い為、基本的には本人である。文字が書けない方や、筋力が弱い方には代諾者に書いていただく。
	第2号委員 それは、署名の代理人ということではないのか。同意するかしないかの判断はご本人がされるのか。	オプトアウトではなく、外来に通院されている方が対象の為、基本的には、本人に依頼することになる。
	第1号委員 代諾とは意味が異なる。基本的には本人の同意を取るということで、代筆したことが分かれば、本人の承諾を得たということになる。代諾者の承諾は無いということでしょうか。	はい。
説明者退室後に審議がなされた		
審議内容	第1号委員 先天的な変異が偶発的に見つかる可能性がある為、対策を整えるということと、代諾者に関して修正していただくことなどを踏まえたうえでの軽微な継続審査としてよろしい	

	か。
審査結果	継続審査

4)

研究番号	25231		
申請区分	新規		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括）代表：久留米大学 共同研究機関数：29		
研究課題名	進展型小細胞肺癌に対するタルラタマブの有効性および安全性に関する多施設後ろ向き観察研究		
研究責任者	東 公一		
説明者	増田 健（研究分担者）	出席形態	対面
実施体制内の委員	第1号委員（研究分担者）	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第3号委員 説明文書の内容が難しい為、患者さんでも分かるように修正していただきたい。		
	第1号委員 内容に関しては委員によって様々な意見があると思うが、もう少し分かりやすい表現にしたほうがよいと思う。	はい。	
	第3号委員 情報公開文書の受診期間について、「…10月31日までの間に受診」とあるが、受診という表現は適切か。	より適切な文言を検討する。	
説明者と実施体制内の委員退室後に審議がなされた			
審査内容	第1号委員 説明文書に関しては、平易な表現に修正していただくことが必要である。		
	第1号委員 略語や英語が多い。		
	第1号委員 ご指摘いただいた箇所を修正していただくうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。		
審査結果	継続審査		

5)

研究番号	25241		
申請区分	新規		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括）代表：久留米大学 共同研究機関数：2		
研究課題名	晩期再発乳がんの関連因子に対する後方視的観察研究		
研究責任者	唐 宇飛		
説明者	中村 彩乃（研究分担者）	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第1号委員 CGP検査の結果はどのような内容なのか。	遺伝子変異の有無などである。	
	第1号委員 がんゲノム医療のパネル検査か。	はい。本研究において、新たな情報を得るわけではない為、患者さんへの告知の義務は無いかと捉えている。	
	第3号委員 試料は使用されないのか。	はい。	
	第3号委員 研究計画書11頁14.(1)の試料は該当しないにチェックが必要である。	はい。	
	第3号委員 研究計画書12頁16.研究費に関してのチェックがない。	研究費等はないかと思う。	
	事務局 通信費等もある為、チェックは必要である。	講座研究費にチェックをする。	
	第1号委員 バリエーションが多い中で、この目標症例数の設定は適切か。過去の論文で参考になるものはあるか。	海外のデータでもあまりない。	
	第1号委員 研究として成り立つのか。	他施設においても、倫理委員会の審査が通らなければ調べることが出来ない為、あくまでも予想で立てている。	
	第1号委員 今後有効なデータがあれば、参考にしていただきたい。また、2030年までの受診とあるが、今後再発された方も含まれる	はい。	

	という理解でよいか。	
	第3号委員 情報公開文書「受診期間：西暦2030年11月までの間に受診」とあるが、この記載の場合、全員が対象になるが間違いか。	修正する。
	第1号委員 対象者はパネル検査をされた方の為、言及したほうが絞れると思う。	文面にパネル検査をされた方も追記する。
	第2号委員 代諾者からの同意取得は有りか。	はい。本人の同意能力が無い場合に関しては、そのように考えている。
	第2号委員 同意書に、代諾者の欄も設けたほうがよい。	はい。
	第1号委員 同意撤回書にも必要ではないか。	はい。
	第1号委員 本人が同意したとして、同意撤回は出来ないかもしれない場合、代諾者が同意撤回することは有りか。	
	第2号委員 法的には有りである。	
説明者退室後に審議がなされた		
審議内容	第1号委員 ご指摘に関して明確であった為、私の判断に一任として、軽微な継続審査としてよろしいか。	
審査結果	継続審査	

6)

研究番号	25242		
申請区分	新規		
単独/多機関	単独		
研究課題名	臀部皮膚異常を契機とした潜在性二分脊椎スクリーニングにおける脊髄超音波検査の教育ハンドブックの開発と教育効果の検証		
研究責任者	水島 靖子		
説明者	水島 靖子	出席形態	対面
説明者	下川 尚子（研究分担者）	出席形態	対面

実施体制内の委員	第1号委員（研究分担者）	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第1号委員 研究計画書7頁.(1)教育対象者3名に対しても、統計学的なことを行うのか。	はい。	
	第1号委員 3名に関しては、要約のみである。3名の意見が一致するか、別れるかのみを確認する為、統計解析というより集計である。		
	第1号委員 医の倫理委員会でよいのか。		
	第1号委員 病院倫理委員会でもよかったのではないかと思うが、今回は本委員会での審査となった。		
説明者と実施体制内の委員退室後に審議がなされた			
審議内容	第1号委員 大きなご指摘は無かった為、誤字脱字等を修正していただくうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。		
審査結果	継続審査		

7)

研究番号	25251		
申請区分	新規		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括）代表：久留米大学 共同研究機関数：1		
研究課題名	Tc-PYP と Tc-HMDP を用いたアミロイドシンチグラフィの診断能比較: 生検を gold standard とした多施設コホート研究		
研究責任者	田原 宣広		
説明者	田原 宣広	出席形態	対面
実施体制内の委員	第1号委員（研究分担者）	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第3号委員	はい。	

	全体的に、慶應義塾大学病院の名称の記載が異なっている為、統一した表記に修正が必要である。また、シンチグラフィの記載も誤記がある為、修正が必要である。	
	第1号委員 本学の核医学は関係ないのか。	核医学のみで行っているわけではない。放射線科とは切り離している。
	第2号委員 代諾者からの同意もあるのか。	受診されている方は本人からで、受診されていない方はオプトアウトである。
	第2号委員 同意書に代諾者の欄もあるが必要か。	
	第1号委員 同意書は削除が必要である。同意撤回書は記載したままでよい。	
説明者と実施体制内の委員退室後に審議がなされた		
審議内容	第1号委員 共同研究機関の大学名の統一と、同意書の代諾者欄は削除することなどを踏まえたうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。	
審査結果	継続審査	

8)

研究番号	25222		
申請区分	新規		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括）代表：久留米大学 共同研究機関数：4		
研究課題名	5G 複合電波ばく露のヒト皮膚に及ぼす影響評価		
研究責任者	増田 宏		
説明者	増田 宏	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第3号委員 研究計画書5頁6.①「2026.04-2028.03」とあるが、「2026.04-2027.03」の間違いではないか。	確認する。	
	第3号委員 謝礼金の金額の差は、拘束時間や危険度によって異なるということか。	拘束時間と、採尿や採血の負荷がかかっている為、異なる。	
第1号委員	基本的に背中 of 皮膚としているが、可能で		

	皮膚の場所は限定しないのか。	あれば他の箇所も希望している。研究計画書 5 頁 6.①ばく露部位に「体表（背部などの皮膚表面）」と記載している。
第 1 号委員	面積は関係ないのか。患者さんに対する説明があったほうがよいかと思った。	スライドを見せながら検査着などの説明はする。
第 1 号委員	検査着などに関して、説明文書には記載されているか。	
事務局	説明文書 6 頁に記載されているが、図などは無い。	
第 1 号委員	図があったほうが分かりやすい。	はい。
第 1 号委員	同意書には 18 まで項目があるが、説明文書には記載されていない。統一が必要である。	はい。
第 1 号委員	皮膚の温度を測る為、何度以上になったらやめるなどの中止基準は設けないのか。	45℃としている。
事務局	低温やけどの発症条件は、皮膚温度が 45℃に保たれた状態が約 3 時間続いた場合と記載されている。	
第 1 号委員	中止基準として記載したほうがよい。	はい。
第 3 号委員	採血や採尿のストレスマーカーは、ばく露によるストレスを調べる為のものか。	はい。
第 3 号委員	実験していること自体がストレスになる為、それとの違いをどのように明確にするのか。	シャム群を作り、差を見ている。
第 3 号委員	問診票の成人用とシニア用の違いが分か	ID が異なるのみである。

	らない。	
説明者退室後に審議がなされた		
審議内容	第1号委員 検査着に関して、図か写真を入れていただくことなどを踏まえたうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。	
審査結果	継続審査	

9)

研究番号	25252		
申請区分	新規		
単独/多機関	単独		
研究課題名	生成 AI を活用した研究計画書の完成度を定める因子		
研究責任者	蘆田 健二		
説明者	蘆田 健二	出席形態	対面
実施体制内の委員	第1号委員（研究分担者）	出席形態	対面
事務局の退席者	金子 富美（研究分担者） 田村 聡司（研究分担者）	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第1号委員 柏木先生が作成されたツールというのは、元々はどこのプラットフォームか。	チャット GPT がベースになっている。	
	第1号委員 同じプロンプトを入力しても、毎回同じ出力がされれば、研究としての妥当性を担保するのか。	学習機能は付いていない為、まずは初回の結果を使って研究をする。システム自体、学習させないように制御をかけている為、一定のタイミングでアップデートは行われるが、その期間中、学習機能に関しては更新されない。また、推論値もロー、ミディアム、ハイで選択が出来る為、それによってどのような研究結果が出るのかを確認する。しかし、何度も同じ箇所をクリックすると多少のズレが生じる為、規定を設けて初回の計画書を採用し、設定したいと考えている。	
第1号委員 もう一度行い、同じものが出力されれば	検討する。条件に関しては、研究計画書5頁に記載している通りである。		

	良いのではないか。全く異なる回答が出た場合は、初回の計画書を採用でよいのではないか。	
	第3号委員 資金源が内分泌代謝内科学講座研究費となっているが、間違いはないか。	責任医師の所属が内分泌代謝内科である為、そこから賄う。
	第3号委員 その後の記載で、「もし将来的に企業等との共同研究や資金提供が生じた場合には、…」とあるが、その可能性もあると考えているのか。	はい。
	第3号委員 研究計画書にも記載したほうがよい。	はい。
説明者と実施体制内の委員、事務局の研究者が退室後に審議がなされた		
審査内容	第1号委員 「もし将来的に企業等との共同研究や資金提供が生じた場合には、…」の記載に関して、研究計画書にも記載することなどを修正していただくうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。	
審査結果	継続審査	

10)

研究番号	25254
申請区分	新規（審査上限回数3回に達し再度申請）
単独/多機関	単独
研究課題名	AIによる姿勢分析と筋硬度計を用いた外科医の術中身体ストレス評価の有用性について
研究責任者	藤田 文彦
説明者	ヒアリング無し
概要説明	再審査の結果に対する修正箇所について、委員長より説明がなされた
審査内容	第3号委員 修正いただきたい箇所が何点かある。例えば、CRMate 申請画面の責任者メールアドレスが違う。 第1号委員 軽微な継続審査としてよろしいか。
審査結果	継続審査

11)

研究番号	25216
申請区分	新規（再審査）
単独/多機関	単独
研究課題名	外来血液透析患者への多職種による生活支援のためのシステム構築の取り組み～フレイル早期発見に向けた実態調査～
研究責任者	宇佐 希美
説明者	ヒアリング無し
概要説明	再審査の結果に対する修正箇所について、委員長より説明がなされた
審査内容	第1号委員 指摘事項に関しては対応されている。誤記等が無ければ、承認としてよろしいか。
審査結果	承認

12)

研究番号	25223
申請区分	新規（再審査）
単独/多機関	多機関共同研究（個別審査）代表：オハイオ州立大学
研究課題名	肥満が関与する子宮体癌におけるバイオマーカーとしてのエクソソームタンパク質の同定と検証
研究責任者	池田 周平
説明者	ヒアリング無し
概要説明	再審査の結果に対する修正箇所について、委員長より説明がなされた
審議内容	第1号委員 修正いただいた内容でよろしいか。 第3号委員 情報公開文書や申請書には、血液の記載がまだ残っている。 事務局 削除していただく。 第1号委員 軽微な継続審査とする。
審査結果	継続審査

13)

研究番号	25180
申請区分	変更（機関の追加の為）
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括）代表：久留米大学 共同研究機関数：6

研究課題名	Experience and Discrimination in People with Alcohol Related/Associated Liver Disease (ALD)
研究責任者	川口 巧
説明者	ヒアリング無し
概要説明	再審査の結果に対する修正箇所について、委員長より説明がなされた
審査内容	事務局 機関が増えたのみである。
	第1号委員 誤記等があれば、軽微な継続審査とする。
審査結果	継続審査

14)

- ①【不適合審査】 審査結果 7件 厚生労働大臣への報告不要  
【不適合審査／委員長審査】 審査結果 1件 厚生労働大臣への報告不要
- ②【本学発生の有害事象】報告 1件

【承認案件】

① 一般審査結果：9件	
審査結果	承認5件、審査中3件、承認しない1件、審査に該当しない1件
② (新規)迅速審査結果：12件	
審査結果	承認11件、審査中3件、審査に該当しない1件
③ (変更)審査結果：20件	
審査結果	承認13件、承認しない2件

【報告事項】

① (新規)学外一括審査報告：8件
② (変更)学外一括審査報告：15件
③ (新規)他機関における研究への試料・情報提供に関する報告：1件
④ (変更)他機関における研究への試料・情報提供に関する報告：2件
⑤ (新規)研究協力機関に関する報告：1件
⑥ (変更)研究協力機関に関する報告：0件
⑦ (学内)経過・中止・終了・その他報告：18件
⑧ (学外)経過・中止・終了・その他報告：3件

【その他】

- ・令和8年度倫理審査委員会のスケジュールについて

① 一般審査日：第3月曜日 17時～ → 第1月曜日 16時～

② 迅速審査開始日：毎月1日 → 一般審査日の翌週水曜日（予定）

4/15（水）、5/20（水）、6/10（水）等

③ 迅速審査について

ゲノム関連、看護学科の大学院生の臨床研究の審査と その他の臨床研究の審査体制（別紙参照）

→③に関しては、次回ご承認を頂くこととする